

2015年春闘アピール

金融の職場ではたらく皆さん

2015年春闘では、昨年度春闘で始まったベースアップの機運を全国へ広げられるかどうか、低下し続ける実質賃金を改善するための大幅な賃上げが獲得できるかどうか、この2つが問われています。

第一に、昨年の春闘では「労働者の賃上げこそが経済の好循環をもたらす」との考え方が広がり、大手製造業を中心にベア回答が相次ぎました。しかし、私たちが働く金融の職場や、中小企業にまでベアが広がったとはいえません。経済の好循環を実現するためにも、今春闘ではすべての労働者の賃上げをめざす取り組みの先頭に立ちましょう。

第二に、消費税率の引き上げや物価の上昇により、労働者の実質賃金は17ヵ月連続で減少しています（厚生労働省「毎月勤労統計調査<2014年11月>」）。春闘で賃上げが実現しない限り、私たちの生活水準は悪化し続けています。今春闘ではとことんベアにこだわり、実質賃金の改善を目指しましょう。

金融の職場ではたらく皆さん

金融労連は次の3点を重点項目として2015年春闘に臨みます。

- ①生計費原則にもとづく賃金の引き上げと格差の是正
- ②非正規労働者の雇用確保・労働条件改善と組織化
- ③パワハラ根絶

具体的な賃金要求としては、賃金の底上げに、物価の上昇や消費税率の引き上げの影響を加味して、月額2万円以上、時間額150円以上とします。

また近年、地域金融機関の合併・経営統合が相次ぎ、雇用不安が広がっており、合併・経営統合が安易な従業員のリストラに繋がらないよう、今春闘では監視を強めていきます。

一人でも多くの仲間が金融労連へ結集することが、要求実現の大きな力になります。金融労連の2015年春闘方針に賛同をいただき、すべての労働者の生活向上と権利向上を求めるたたかいに参加していただくことを、ここに心から訴えるものです。

2015年1月25日

全国金融労働組合連合会 第9回中央委員会